2020 年度　部局 FD 活動報告

現代システム科学域

1.　FD 活動の実施体制、取り組みの概要

昨年度策定した内部質保証基本方針に基づいて、学域 FD 会議、学類 FD 会議をスタートさせ、学域内 PDCA サイクルの中で、特に本年度は、学域 FD ではカリキュラムマップの検討、学類 FD では学類 3 ポリシーの見直しを行った。また、学域全体として「分野融合型 PBL の設計と評価方法の確立」に、人間環境科学課程において「meaQs／forQs システムを用いた学士課程教育の実質化と学修成果の把握」に取り組んだ。

2.　FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2020 年 5 月 1 日	meaQs 座談会 Part7	ワークショップ	20
2021 年 3 月 4 日	2020 年度教育の内部質保証に関するセミナー「同志社大学における PBL の取組み」	セミナー	47

3.　FD に関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
現代システム科学域 FD 会議	カリキュラムマップの検討	7	15
3 学類 FD 会議	3 ポリシーの見直し	知識:6 環境:8 マネジメント：5	18 39 29
現代システム科学系 WG、現代システム科学系教務準備部会、現代システム科学系入試広報準備部会、入試準備部会、広報準備部会	2022 年以降の新学域での 3 ポリシー、カリキュラム構成、入試方法の検討	コア WG:6 教務:11 入試広報:1 入試：3 広報：4	コア WG:10 教務:11 入試:6 広報:5

4.　FD 活動への各教員の参加状況

※ 前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	86 人　／　86 人中

5.　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	23	4	
後期	41	1	
年度 合計	64	5	

6. その他取り組みの具体的実施状況

---以下、知識情報システム学類

・ 知識情報システム演習 IV のポスター発表の実施

- 1 月 26 日（火）Ⅲコマ　Zoom によるオンラインにてポスター発表を実施した.
- 質疑応答が偏らないように教員に割り当て、前半・後半の 2 部構成で行い、質疑応答内容をレポートとして提出させた。

・ 卒業研究の発表会の実施

- 2 月 22 日（月）III, IV コマ　Zoom によるオンラインにて卒業研究発表会を実施した。一人当たり 8 分の発表と 2 分の質疑応答を設けた. 全体を 4 つのグループに分けて Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いパラレルで実施した.

----以下、環境システム学類

・ 「環境システム学演習Ⅰ・Ⅱ」では、学生全員による発表会に全教員が参加することで、提示された成果への確認とさらなる示唆が、複数の教員から学生に直接与えられている。また、「環境共生科学入門」「社会共生科学入門Ⅰ・Ⅱ」などでも、連続的かつ多様な内容が学べるよう、複数の担当教員が連携しながら授業を進めてきた。

・ 環境システム学類会議では、入試問題の作成・演習における発表会・卒業研究の発表会などについて教員間で懇談協議し改善に努めた。

・ 環境システム学類 FD 会議を毎月の定例学類会議後に実施した。内部質保証のための取り組みとして、学類の DP の改定、専門科目マトリクスの作成、カリキュラムマップ、プログラムマップ、ルーブリックの作成を行った。

----以下、マネジメント学類

- オンライン授業についての学生アンケートの結果を共有し、よりよりオンライ ン授業のあり方について検討した。
- 期末試験について、オンラインでのより適切な実施方法を科目毎に検討した。
- 外書講読のクラス編成について、より教育的効果が見込める改善を次年度に向 けて検討した。
- 授業評価アンケートへの積極的参加の学生に対する呼びかけ、並びに各教員による アンケートの分析とコメントを促進した。
- マネジメント学類のカリキュラムの再検討を実施した。
- マネジメント学類の次年度カリキュラムに沿った FD 活動を検討した。
- マネジメント課程と経済データサイエンス課程について、カリキュラムや教育運営上の問題点等を検討した。
- マネジメント課程と経済データサイエンス課程の課程選択に関するアンケートを行い、経済データサイエンス課程の志望者が少ない問題の原因を検討した。
- マネジメント課程と経済データサイエンス課程に関するガイダンスを行った。
- 経済データサイエンス課程の内容を学生に周知するために座談会を行った。
- マネジメント演習Ｉの選考方法について検討をおこなった。